

活動名	団体名	大学環境ネットワーク協議会	
	地域	広島県広島市	
	代表者	会長 森嶋 彰	
	支援金額	40万円	
学生による各種環境教育活動			
活動概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした環境出前講座 ・オリジナルエコバッグ作成、配布 ・水生生物調査 ・街頭・訪問先でのゴミ拾い ・みんなで行動プロジェクト ・定例会(月一回) ・各種環境イベントへの参加 			
<p>◆実施時期：平成21年4月～平成22年3月 県内の小学校、公民館、EPOちゅうごく等</p>			
<p>◆参加人数：環境出前講座 15名 エコバッグ作成、配布 30名 水生生物調査 5名 ゴミ拾い 20名 みんなで行動プロジェクト 15名 定例会 35名 各種環境イベント参加 20名</p>			
参加総人員 100名			



《小学校への出前授業におけるオリジナル紙芝居の上映》



《学生のライフスタイルにピッタリなオリジナルエコバッグ》



《原爆ドーム前でのアースアワーのPR活動》



《イベント(キャンパスフェスタ)で紙芝居を披露》

◆実施に伴う効果

- ・子供たちが環境に興味を持つきっかけ作りになった。
- ・市街地から離れた地域の小学校などでは、他の地域と連携しての教育などが取り辛いため、外部から普段と違う刺激を持って来てもらうと非常に有り難いと感謝された。
- ・主な対象となる小学生と比較的年齢に近い大学生と「一緒に楽しみながら学ぶ」ということで生徒が興味を持って積極的に活動に参加していたと感謝された。
- ・他団体との共催などを通じ新たなコネクションが出来、今後のお互いの活動に新たな可能性が生まれた。
- ・アースアワーの取組は、国内では2010年より本格的に始まったものであり、広島市からの依頼により、ジャパン・オーストラリア・インターナショナルと連携により、取組の存在と意義をPRし、マスコミやWeb上での効果的な発信等を実現する事が出来た。単に公共施設等のライトダウンが予定されていたものを、原爆ドーム周辺でのPR活動により、市民にはわかりやすく、対外的には海外通信社等を通じて、広島における環境に関する青少年活動等の様子を紹介できた。2011年以降は、広島市内外でアースアワーの取組が盛んになると予想されている。

◆苦勞した点

- ・各メンバーそれぞれ自分たちの所属サークルとの兼ね合いもあり、一部の主要メンバーに負担が集中しがちになってしまった。
- ・各プロジェクトの始動が遅れ、準備がギリギリになったり、参加者内で打ち合わせの時間が十分に取れず、活動に不慣れなメンバーが戸惑う場面があった。
- ・ホームページ、各種環境イベントでのチラシ配布などの手段でPRを行ったが、メンバーの都合がつかず(学生ということもあり、特に長期休暇の時期を除く学期中の平日)、出前講座の開催ができなかったりした。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・ホームページの充実、および主要メンバーの数を増やし、団体のフットワークを軽くすることで、出前講座などの活動の充実化を図る。
- ・プロジェクト毎の代表を限られた数人で兼任して回していくのではなく、可能な限り多くのメンバーに受け持ってもらう。学生主体の活動のため、毎年主要メンバーが卒業などで代替わりをしていくという団体の性質もある為、新メンバーに早く団体に馴染んでもらい、ちょっとした仕事を任せ、経験をつませ成長させるというサイクルを確立させる。
- ・コンテンツ自体の質を上げる。また団体の性質上参加メンバーが時によって変わる為、その時々参加メンバーの慣れ不慣れで、コンテンツの質にブレが出てしまう。これを抑えるために参加メンバーへの事前のレジュメ配布・確認を徹底する。
- ・メンバー個々人がいろんなイベントに参加し、感想を報告したり、そこで得た知識を団体に還元したりして、アイディアが出やすい環境を作る。
- ・メーリングリストの活性化、skypeの活用などで定例会以外の場所での交流、意見交換の場の充実を図る。

◆活動を終えての感想・意見等

活動を通じて、交通費の個人負担が減った事などから主な活動となった「環境出前講座」の回数、参加者ともに増え、企画した私たちも楽しく活動することが出来、より沢山の子供たちの笑顔と触れ合い元気をもらいながら活動することが出来ました。ご支援ありがとうございました。